

ペムブロリズマブ療法(6週毎)
(キイトルーダ)

免疫チンブリブイオン阻害薬 副作用対応集シート					
副作用	主な自覚症状	検査項目	ペーシング (投与開始 時)	モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング
			○実施		
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、意切れ	胸部X線	○	投与時	左記の自覚症状発現の場合、左記検査項目の異常が認められた場合には、直ちに相談下さい。
		胸部CT	○	疑い時	
		KL-6 SP-D	○	2か月毎に2回	
		TSH・FT3・FT4	○	月1回	
内分泌障害	甲状腺機能低下症：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など 甲状腺機能亢進症：汗をかきやすい、体重が減る、甲状腺のはれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 副腎機能不全：身体がだるい、意識がうすれる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみかする、食欲不振、低血圧、脱力感 副甲状腺機能低下症：手足の筋力の痙攣、手足口の周りがどろり	抗チログロブリン抗体 抗TPO抗体 TSHレセプター抗体 pTH	○	疑い時	【甲状腺】 症状出現（倦怠感や動悸など）、TSH・FT3・FT4に異常が認められた際、TSHレセプター抗体、抗チログロブリン抗体、抗TPO抗体を1回測定し、自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト 【副腎】 ACTH・コルチゾールを測定した際、コルチゾール低値の場合にコンサルト
		ACTH コルチゾール	○	月1回	
		排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査	○ - -	投与時 疑い時	
		CPK	○	投与時	
大腸炎 重度的下痢	下痢（軟便）もしくは通常よりも頻回の便通、排便もしくは黒クਾਲ便で粘着質の便、重度的腹部痛もしくは圧痛	ACHR抗体	-	疑い時	Grade2以上の下痢、排便回数の増加が認められた場合（ペーシングと比べ4～6回/日以上）の排便回数増加 腹痛・下血・便失禁・発熱に特に注意 目が下がってくる（眼瞼下垂） 飲み込みにくい（嚥下障害） 症状発現時あるいは、CPK1000IU/L以上の場合にコンサルト
		HBAlc	○	月1回	
		グリコアルブミン 血糖	○	疑い時	
		糖尿（尿ケトン体） Cペプチド	○ -	投与時 疑い時	
重症筋無力症 筋炎	重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がだぶって見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体に力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	ACHR抗体	-	疑い時	血糖値が、急激に上昇した場合にコンサルト Grade2以上の皮膚障害
		1型糖尿病 糖尿病性ケトアシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	○	投与時	
		AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH	○	投与時	
		HBs抗体・HBc抗体 HCV抗体	○	感染歴がある方は3か月毎にDNA量を測定	
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐、嘔気、食欲不振、そう痒感	PT APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NT-proBNP Dダイマー FDP	○	疑い時	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト 左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト 左記の自覚症状が発現した場合にコンサルト
		心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	○	疑い時	
		心臓-心電図	○	投与時	
		充血、霧視、羞明、眼痛	○	投与時	
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛	Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定（CBC） バイカルサイン	○	投与時	※検査オーダーは検査内容、統合シートを作成していますので、それらを使用してください 死亡例が報告されています。早めに専門医へのコンサルトをお願いします
		その他	○	投与時	